

令和5年度八千代市教育委員会第9回定例会

令和5年12月20日

午後1時30分

議 事 日 程

- 1 開会
- 2 会議録署名人の指定
- 3 前回会議録の承認
- 4 報告事項
各課報告
- 5 報告
報告第1号 専決処分の報告について
- 6 閉会

【各課報告】

- 1 千葉県読書感想文コンクールについて（指導課）
- 2 令和5年度人権作文コンテスト及び人権ポスター原画コンテストについて（指導課）
- 3 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の公表について（教育センター）…資料1
- 4 令和5年度第1回図書館協議会の開催について（中央図書館）
- 5 第8回八千代市図書館を使った調べる学習コンクールの表彰状授与式について（中央図書館）
- 6 第24回ニューリバーロードレース in 八千代の開催結果について（文化・スポーツ課）…資料2

報告第1号

専決処分の報告について

八千代市教育委員会行政組織規則第10条第1項の規定により、次のとおり専決処分したので報告する。

令和5年12月20日報告

八千代市教育委員会

教育長 小林 伸 夫

1 損害賠償額の決定及び和解について

- (1) 専決処分年月日 令和5年12月5日
- (2) 損害賠償額 124,635円
- (3) 和解の要旨

令和5年10月18日、八千代市立勝田台小学校正門前歩道で下校中の児童が歩行中の男性と接触した人身事故について、相手方に対し、治療費として124,635円を支払うことで一切円満に和解する。

- (4) 損害賠償及び和解の相手方
八千代市勝田台の男性

2 損害賠償額の決定及び和解について

- (1) 専決処分年月日 令和5年12月5日
- (2) 損害賠償額 82,005円
- (3) 和解の要旨

令和5年10月26日、八千代市立阿蘇米本学園正門ロータリー近くにおいて草刈作業中に飛ばした石による通学支援バスの物損事故について、相手方に対し、車両修理費として82,005円を支払うことで一切円満に和解する。

- (4) 損害賠償及び和解の相手方
船橋市小室町3006番地

株式会社コスモスバス

代表取締役 米 井 文 学

令和 5 年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

令和 5 年 1 1 月
八千代市教育委員会

【公表にあたって】

本年度における八千代市の児童生徒の調査結果の概要とその分析、また、これからの取組を公表いたします。

本公表は、「令和 5 年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」の「8. 調査結果の取扱い」における「(4) 調査結果の活用ア (ア) 各教育委員会及び学校等においては、多面的な分析を行い、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら、教育及び教育施策の改善に取り組むこと。」に基づいて行うものです。

よって、本公表が目指すところは、保護者や地域の方々のご理解とご協力をいただき、児童生徒の学習状況の改善を図っていくことです。

本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、今後、調査結果を活用した改善方策の実施に取り組んでまいります。

【令和 5 年度における調査の概要】

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日 令和 5 年 4 月 1 8 日 (火)

3 調査対象 小学校第 6 学年、(義務教育学校 6 年生 以下小学校)
中学校第 3 学年、(義務教育学校 9 年生 以下中学校)

4 調査内容 (1) 教科に関する調査 (小…国語・算数、中…国語・数学・英語)
○「知識・技能」「活用」に関する問題
(2) 生活習慣や学校環境に関する質問紙調査
○児童生徒に対する調査 ○学校に対する調査

結果を受けて「八千代市としての取組」

教職員の資質向上

教職員の資質を高め、児童生徒一人一人を大切にしたきめ細やかな授業を行う。

言語活動の充実

国語科はもとより、さまざまな教育活動を通して児童生徒が思考する時間を確保し、一層、言語活動(話す・聞く・書く・読む)を充実させる。

読書活動の充実

各学校で朝の読書の時間や読み聞かせなど、読書の時間を充実させ、読書を奨励する。

理数教育の充実

算数・数学・理科に対する関心や学習意欲を高め、内容の理解につながる授業づくりに取り組む。

ICT 活用の促進

ICT の効果的な活用により、児童生徒の情報活用能力の育成を目指す。

各学校と家庭・地域社会の連携

道徳教育・人権教育の充実をはかるとともに、地域の中で活躍できる児童生徒の育成を目指す。

分析結果の活用

各学校において分析した成果や課題を、全教職員で共有するとともに、保護者へ周知していく。

「教科に関する調査」の結果の概要と分析

*文末の()内は、「平均正答率(本市ー全国)」を表す

小学校・国語

〈傾向〉

『文章の種類とその特徴について理解すること』
(市 82.0%-全国 79.8%)

『必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること』
(市 76.0%-全国 74.0%)

※「話すこと・聞くこと」の分野では、全国の平均正答率が 72.6%に対し、本市は 74.0%と 1.4 ポイント高かった。「情報の扱い方に関する事項」の分野でも、全国の平均正答率が 63.4%に対し、本市は 64.0%と 0.6 ポイント高かった。言語活動を通して、話や文章の中心となる語や文を捉える力を高めようとする授業の実践が要因と考えられる。

『学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うこと』 (市 44.9%-全国 52.8%)

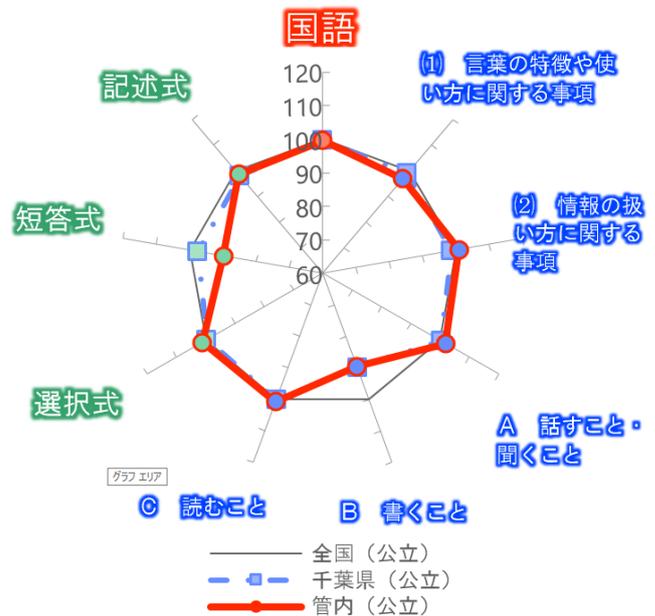
『グラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること』(市 23.9%-全国 26.7%)

※「書くこと」の分野において、特に、複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり書き表し方を工夫したりすることに課題が見られる。

小学校	八千代市	全国
国語	67	67

※表内の数字は小数第 1 位を四捨五入した平均正答率

全国(公立)の平均正答率を 100 とした場合の相対値



中学校・国語

〈傾向〉

『文章の構造と内容の把握をすること』
(市 86.2%-全国 84.0%)

※上記問題内容は、「読むこと」の分野において選択肢から適切なものを選ぶ内容である。文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる問題であった。授業で説明文の教材を指導する際に、段落ごとに内容を捉えたり、文章全体における段落の役割を考えたりする丁寧な指導の実践が要因として考えられる。

『歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができる』 (市 78.4%-全国 82.5%)

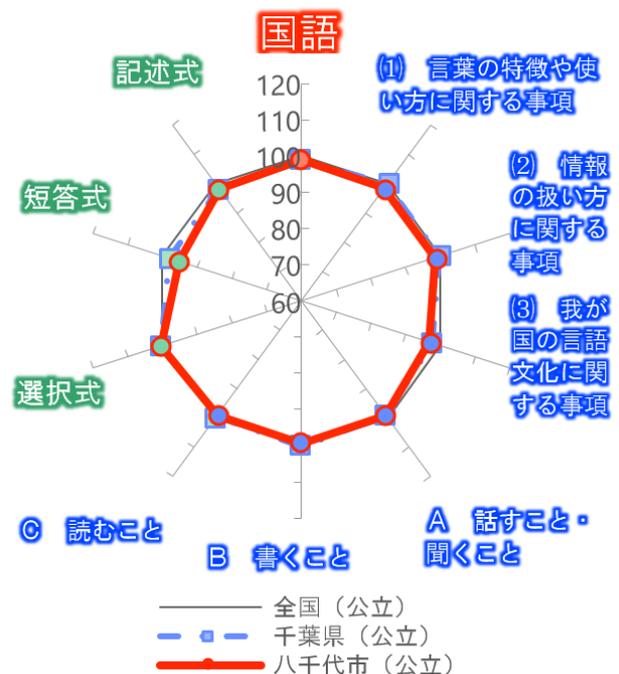
『文脈に即して漢字を正しく書くことができる』
(市 40.6%-全国 43.9%)

※「知識及び技能」の習得に課題が見られた。古典の教材を指導する際には、知識技能(歴史的仮名遣い等)と言語活動を関連付けて指導をすることの工夫が必要である。また、実際に書く活動を通して漢字を正しく用いる態度と習慣とを養うことにも課題がみられた。

中学校	八千代市	全国
国語	69	70

※表内の数字は小数第 1 位を四捨五入した平均正答率

全国(公立)の平均正答率を 100 とした場合の相対値



小学校・算数

〈傾向〉

『以上』の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる

(市 78.6%-全国 75.7%)

※目的に応じてデータの特徴や傾向を読み取ったり捉えたりする内容である。領域別の「データの活用」に関する問題では、全国の平均正答率が 65.5%に対し、本市は 65.9%であった。授業において、日常生活の事象について、目的に応じて適切なグラフに表し、統計的に問題を解決する活動を取り入れ指導していることが要因であると考えられる。

『台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる』

(市 55.0%-全国 59.8%)

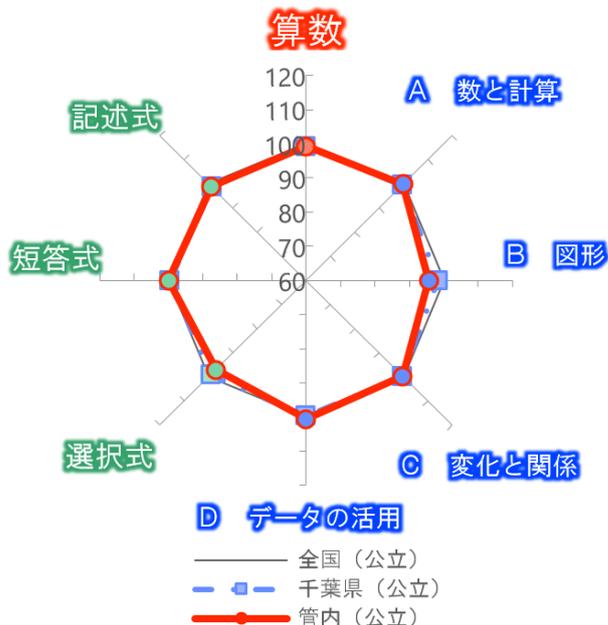
『一の位が0の二つの二位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる』

(市 78.4%-全国 80.8%)

※領域別の「図形」に関する問題では、全国の平均正答率が 48.2%であるのに対し本市は 46.1%であった。問題形式では、「選択式」に関する問題で、全国の平均正答率が 57.7%であるのに対し、本市は 56.0%であった。

小学校	八千代市	全国
算数	62	63

※表内の数字は小数第1位を四捨五入した平均正答率
全国（公立）の平均正答率を 100 とした場合の相対値



中学校・数学

〈傾向〉

『自然数の意味を理解しているかどうかをみる』

(市 52.2%-全国 46.1%)

『四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる』

(市 69.5%-全国 65.7%)

※「数と式」の領域で回答する問題の平均正答率は、全国の 63.0%に対し、本市は 63.5%であった。また、「データの活用」の領域で回答する設問の平均正答率は、全国の 48.5%に対し、本市は 50.0%であった。それぞれの領域の中で、基本的な知識の理解や読み取りなどの技能について、定着が図られていると考えられる。

『事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる』

(市 42.0%-全国 42.8%)

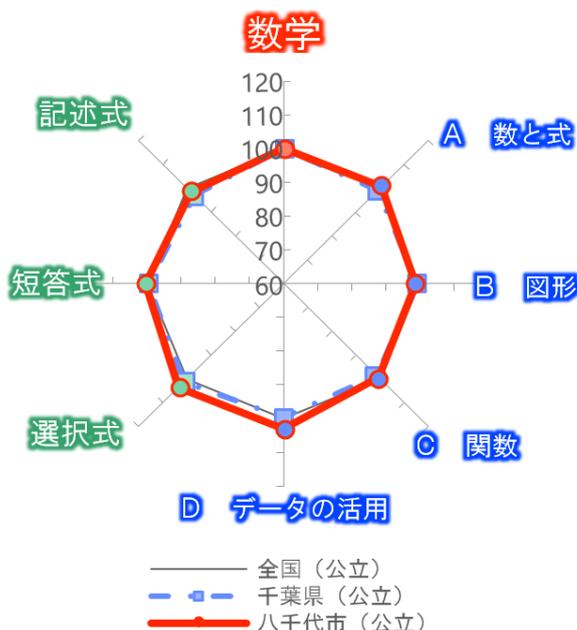
『ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる』

(市 30.6%-全国 32.1%)

※問題形式が記述式の設問に関して課題が見られ、全国の平均正答率が 41.6%であるのに対し、本市は 40.9%であった。これらの設問は「思考・判断・表現」の評価と関連しているため、無回答率を下げる必要があると考えられる。

中学校	八千代市	全国
数学	51	51

※表内の数字は小数第1位を四捨五入した平均正答率
全国（公立）の平均正答率を 100 とした場合の相対値



中学校・英語

〈傾向〉

『買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する』

(市 56.8% - 全国 49.8%)

『ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する』

(市 85.7% - 全国 79.0%)

※「聞くこと、読むこと、書くこと」全ての領域で、全国の平均正答率を上回った。特に聞くことでは、全国が58.4%に対し、本市は63.1%となっており、聞く力の定着が図られていると考えられる。

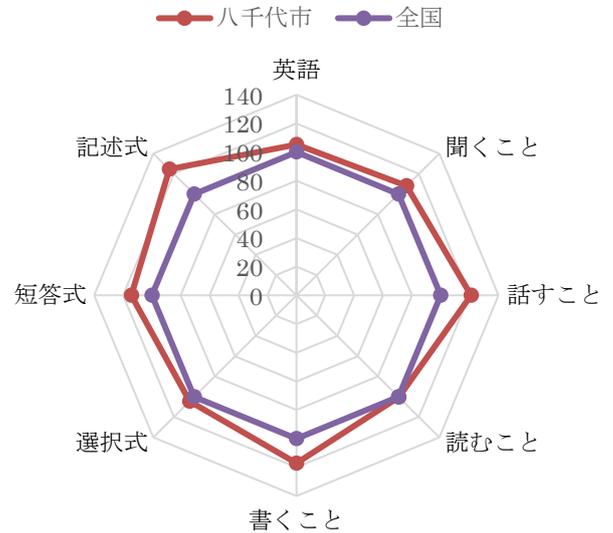
『与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる』

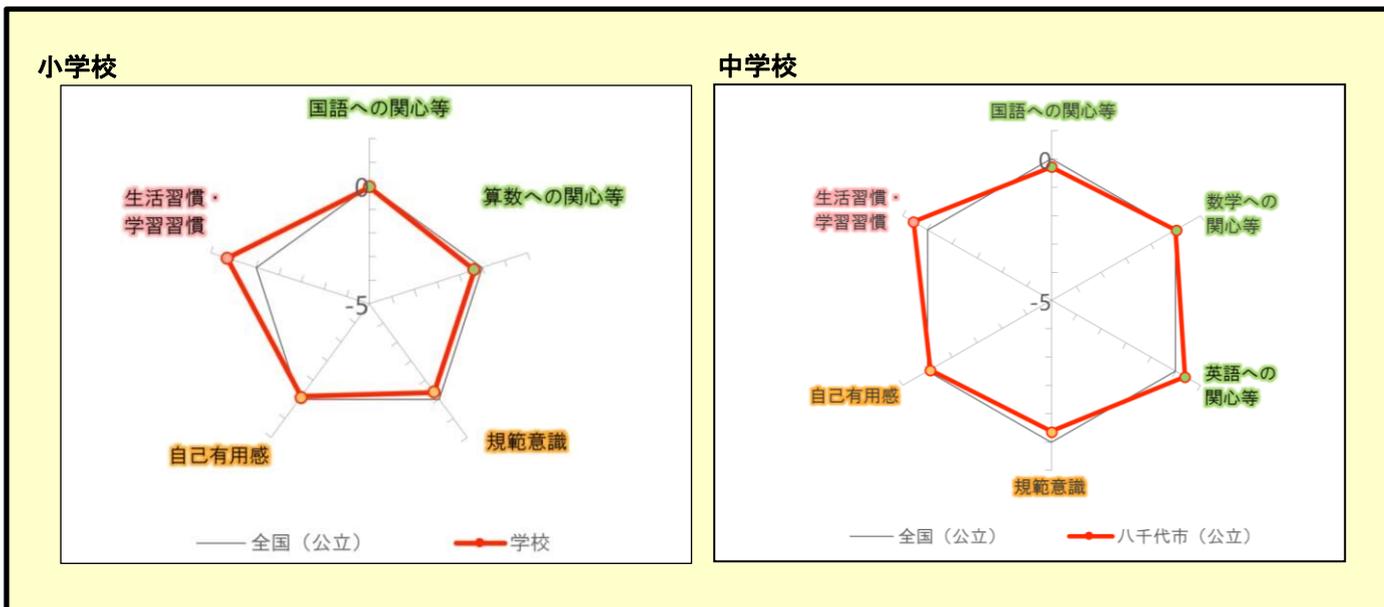
(市 47.4%-全国 40.4%)

※会話に合わせて、未来表現の肯定文を正確に書くことができるかどうかを問う問題であった。全国平均正答率に対し、本市は7.0ポイント高かった。基本的な知識の定着が図られていると考えられる。

中学校	八千代市	全国
英語	48	46

※表内の数字は小数第1位を四捨五入した平均正答率
全国（公立）の平均正答率を100とした場合の相対値





「児童・生徒質問紙調査」の結果の概要（小中学校）※抜粋

*文末の（ ）内は、「肯定的回答率(本市ー全国)」を表す

〈学習に対する関心・意欲・態度〉

- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか。」 小学校 (86.1%－85.3%) 中学校 (83.0%－81.8%)
- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれていると思いますか。」 小学校 (92.4%－93.0%) 中学校 (85.4%－88.9%)
- ・「道徳の授業では自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。」 小学校 (81.4%－83.6%) 中学校 (89.9%－86.3%)
- ・「国語の勉強は好きですか。」 小学校 (64.9%－61.5%) 中学校 (60.7%－61.4%)
- ・「算数・数学の勉強は好きですか。」 小学校 (58.9%－61.4%) 中学校 (61.0%－56.7%)
- ・「英語の勉強は好きですか。」 小学校 (69.1%－69.3%) 中学校 (57.0%－51.9%)
- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」 小学校 (46.1%－57.8%) 中学校 (31.3%－38.0%)

※生活に関わる質問で学校を楽しんでいる割合は、小中学校ともに全国平均より高い。

※道徳の授業で、自分の考えを深めたり、話し合い活動を行ったりしている割合は、小学校は全国平均より低いですが中学校は高い。

※学習に対する興味・関心に関わる質問について、国語は全国平均より小学校は高いが中学校は同程度。算数・数学は全国平均より小学校は低いですが、中学校は高い。英語は全国平均より小学校は同程度だが、中学校は高い。

※地域や社会に関する興味・関心は、小中学校ともに全国平均より低い。

〈自尊感情〉

- ・「将来の夢や目標を持っていますか。」 小学校 (82.1%－81.5%) 中学校 (66.5%－66.3%)
 - ・「自分には、よいところがあると思いますか。」 小学校 (84.4%－83.5%) 中学校 (80.0%－80.0%)
- ※自尊感情に関わる質問については、小中学校ともにどの項目も全国平均と同程度。

〈学習の基盤となる活動、生活習慣〉

- ・「朝食を毎日食べていますか。」 小学校 (94.4%－93.9%) 中学校 (92.2%－91.2%)
- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」 小学校 (80.8%－81.0%) 中学校 (73.8%－78.0%)
- ・「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」 小学校 (90.9%－90.5%) 中学校 (89.6%－91.3%)
- ・「家で自分で計画を立て勉強をしていますか。」 小学校 (70.1%－70.7%) 中学校 (52.6%－55.0%)
- ・「学校の授業時間以外に、普段（月から金）一日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。」
 ※選択肢「1時間以上」のみ 小学校 (20.3%－18.5%) 中学校 (16.0%－13.8%)

※生活習慣に関わる質問については、小学校は全国平均と同程度、中学校は全国平均より低い。

※家庭での学習に関わる質問については、小学校は全国平均と同程度、中学校は全国平均より低い。

※一日当たり1時間以上読書している児童生徒の割合は小中学校ともに全国平均より高い。

第24回ニューリバーロードレースin八千代 申込・出走者数・完走者数

項目		部門	申込数	出走数	出走率	完走者数		完走率
						部門別	距離別	
10マイル	一般男子	39歳以下	158	140	88.6%	138	969	98.6%
		40歳代	253	228	90.1%	228		100.0%
		50歳代	334	303	90.7%	299		98.7%
		60歳以上	188	170	90.4%	163		95.9%
	一般女子	39歳以下	20	19	95.0%	18		94.7%
		40歳代	45	43	95.6%	42		97.7%
		50歳以上	97	83	85.6%	81		97.6%
10km	一般男子	39歳以下	126	113	89.7%	113	876	100.0%
		40歳代	115	103	89.6%	103		100.0%
		50歳代	191	168	88.0%	167		99.4%
		60歳以上	152	126	82.9%	125		99.2%
	市民男子	39歳以下	49	41	83.7%	41		100.0%
		40歳以上	145	133	91.7%	133		100.0%
	一般女子	39歳以下	32	29	90.6%	29		100.0%
		40歳代	38	26	68.4%	26		100.0%
		50歳以上	91	83	91.2%	83		100.0%
	市民女子	39歳以下	13	13	100.0%	13		100.0%
40歳以上		48	43	89.6%	43	100.0%		
5km	一般男子	39歳以下	57	50	87.7%	50	425	100.0%
		40歳以上	122	105	86.1%	104		99.0%
	市民男子	39歳以下	21	19	90.5%	19		100.0%
		40歳以上	77	68	88.3%	68		100.0%
	一般女子	39歳以下	37	31	83.8%	31		100.0%
		40歳以上	95	84	88.4%	83		98.8%
	市民女子	39歳以下	15	12	80.0%	12		100.0%
		40歳以上	62	58	93.5%	58		100.0%
中学生	中学男子	31	26	83.9%	26		100.0%	
	中学女子	25	22	88.0%	22		100.0%	
2.5km小学生	小学男子	177	160	90.4%	160	240	100.0%	
	小学女子	86	80	93.0%	80		100.0%	
2.5km親子ファンラン	親子	241	241	-			※	
障がい者レース	車いす以外	11	11	-			※	
	車いす	7	7	-			※	
合計(人数)			3,159	2,838		2,558		

※障害者・親子ファンランは非計測の為、出走・完走組数不明のため申込数を出走数にしています。